

病理セカンドオピニオン組織評価の病理検体貸出について

群馬県立がんセンター
臨床病理検査部・病理検査課

当院では、がんゲノム遺伝子パネル検査提出前に、病理診断の確認と検体の適否を調べるため、腫瘍部のHE染色スライドガラスの貸し出しをお願いしています。

① **パネル検査に提出する組織のHE染色スライドガラス（複数枚ある場合はゲノム検査に適切と思われる個所1～2枚を送付してください。）**

※提出組織が原発巣と異なる場合（転移巣など）は、原発巣のHE染色スライドガラスも送付ください。

②病理診断報告書

③切り出し図

※②③については提出組織が原発巣と異なる場合は、両方送付ください。

以上の提出をお願いいたします。

スライドガラス選択の注意点

- ・状態が良く、腫瘍領域の多い部位を選択してください。**標本や臓器が複数ある場合は、ご施設にて適切と思われる個所に絞ってください。**
- ・腫瘍領域の表面面積が5mm×5mm（25mm²）以上（生検検体は特に注意してください）。
- ・標本作製後より、3年以内の検体を推奨しています。（それ以前の検体しかない場合は当課までご相談ください）
- ・酸脱灰が行われていない検体を選択してください。
- ・3mm程度の厚さがあるブロックを選択してください。

不明な点がございましたら以下にお問い合わせください

群馬県立がんセンター 臨床病理検査部 飯島 美砂
病理検査課 土田 秀
電話 0276-38-0771